

京都府立丹波支援学校でふれあい体験

1月26日に京都府立丹波支援学校の授業の一環として、子牛のふれあい体験を実施しました。

今回の取り組みは、生徒達が子牛とのふれあいを通じて生命の尊さを学び、動物へ優しく接しようとする気持ちを育むことを目的としたものです。

当センターからは2か月齢の子牛を連れていき、子牛との触れ合い方や接し方について説明しました。子牛を間近で見る機会は珍しく、生徒たちは最初こそ緊張した様子が見られましたが、次第に積極的に触れたり、えさやりに挑戦したりする姿が多く見られました。

今後も、こうした体験活動を通じて、子どもたちの動物への興味・関心を育む取り組みを続けていきます。



牛とふれあう生徒達の様子